

## 公開実用 昭和61-76034



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-76034

⑬ Int.Cl.

E 04 D 13/03  
E 06 B 9/52

識別記号

庁内整理番号

6922-2E  
8202-2E

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月22日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 採光窓

⑯ 実 願 昭59-162501

⑰ 出 願 昭59(1984)10月25日

⑱ 考 案 者	渡 辺 定 彦	門真市大字門真1048番地	松下電工株式会社内
⑲ 出 願 人	松下電工株式会社	門真市大字門真1048番地	
⑳ 代 理 人	弁理士 竹元 敏丸	外2名	

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### 採 光 窓

### 2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 屋根開口部に取付けた窓枠体と窓枠体の一辺に軸着して上下に開閉する採光窓体とによって形成される採光窓において、採光窓体の開口時に窓枠体と採光窓体の窓枠との空隙部を塞ぐようになる網体を採光窓体の窓枠周囲の下方へ形成してなることを特徴とする採光窓。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔技術分野〕

本考案は、屋根面に施工取着される採光窓に関するものである。

#### 〔背景技術〕

屋根開口部に施工される採光窓において、窓を開口した際に、虫等が入らないように、防虫網戸を採光窓の内側部分に形成したものがあるが、網戸が邪魔になり、採光窓自体の開閉操作がしにく

く、又網戸により太陽光の採光が減少し易く問題となっていた。

〔考案の目的〕

本考案の目的は、上記点に鑑みて為されたものであり、網体が取付けられていても、開閉操作がし難くならず、採光の度合が減少しない採光窓を提供するところにある。

〔考案の開示〕

本考案の採光窓は、屋根開口部に取付けた窓枠体と窓枠体の一辺に軸着して上下に開閉する採光窓体とによって形成される採光窓において、採光窓体の開口時に窓枠体と採光窓体の窓枠との空隙部を塞ぐようになる網体を採光窓体の窓枠周囲の下方へ形成してなることを特徴とするものである。

以下、本考案の実施例として示した図面に基いて説明する。

第1図は本考案の一実施例の採光窓の斜視図、第2図は本考案の別の実施例の要部拡大断面図であり、図において、Aは採光窓、1は窓枠体、2

は採光窓体、3は網体である。

本考案の採光窓Aは、屋根開口部に取り付けられた窓枠体1と窓枠体1の一辺に軸着して上下に開閉する採光窓体2とによって形成されており、第1図のように、採光窓体2を上方に開口した際に、窓枠体1と採光窓体2との間の空隙部分を塞ぐように網体3が採光窓体2の窓枠21周囲の下方へ形成されている。

第2図のように、採光窓Aの窓枠体1は屋根開口部を形成する木枠Bに取り付けられている。採光窓体2の窓枠21には採光ガラス22が取着されている。窓枠21の一辺は窓枠体1に枢着されており、採光窓体2が枢着部を軸に上下に回動開閉するものであり、窓枠21の残りの三辺の下部には、網体3を取着する取着枠31が形成されており、該取着枠31に網体3の上端が取着されている。そして、網体3の下端には、窓枠体1の内側11に当接する枠体32が取着されている。該枠体32の外周囲には、密封体33が設けられており、採光窓2が上方に開口された際に、枠体33が窓枠体3の内側11の位

置にきて、枠体 33が窓枠体 3 の内側 11に当接して、枠体 33と窓枠体 3 の内側 11との間を密封するものである。即ち、採光窓体 2 を上方に開口した際に、窓枠体 1 と採光窓体 2 との間の空隙部分を塞ぐように網体 3 が形成されているものである。又、網体 3 がどこかに当らず上下し易いように、網体 3 の角部 34の内側に上下方向に補強枠を設けてもよい。

又、第 3 図の別の実施例の如く、網体 3 の下端を予め窓枠体 1 の周囲に固定してもよく、網体 3 自体を伸縮しやすいように蛇腹状の形状に形成してもよいものである。

〔考案の効果〕

上述の如く、本考案の採光窓は、採光窓体の開口時に窓枠体と採光窓体の窓枠との空隙部を塞ぐようになる網体を採光窓体の窓枠周囲の下方へ形成してなるので、採光窓を上方に開口した際に、虫等の侵入を防ぐことができると共に、網体自体が開閉動作の邪魔にならないものであり、更に、採光の度合を減少させないものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案一実施例の採光窓の開閉状態を示す斜視図、第2図は本考案の別の実施例の要部拡大断面図、第3図は本考案の別の実施例の要部拡大断面図であり、図において、Aは採光窓、1は窓枠体、2は採光窓体、3は網体である。

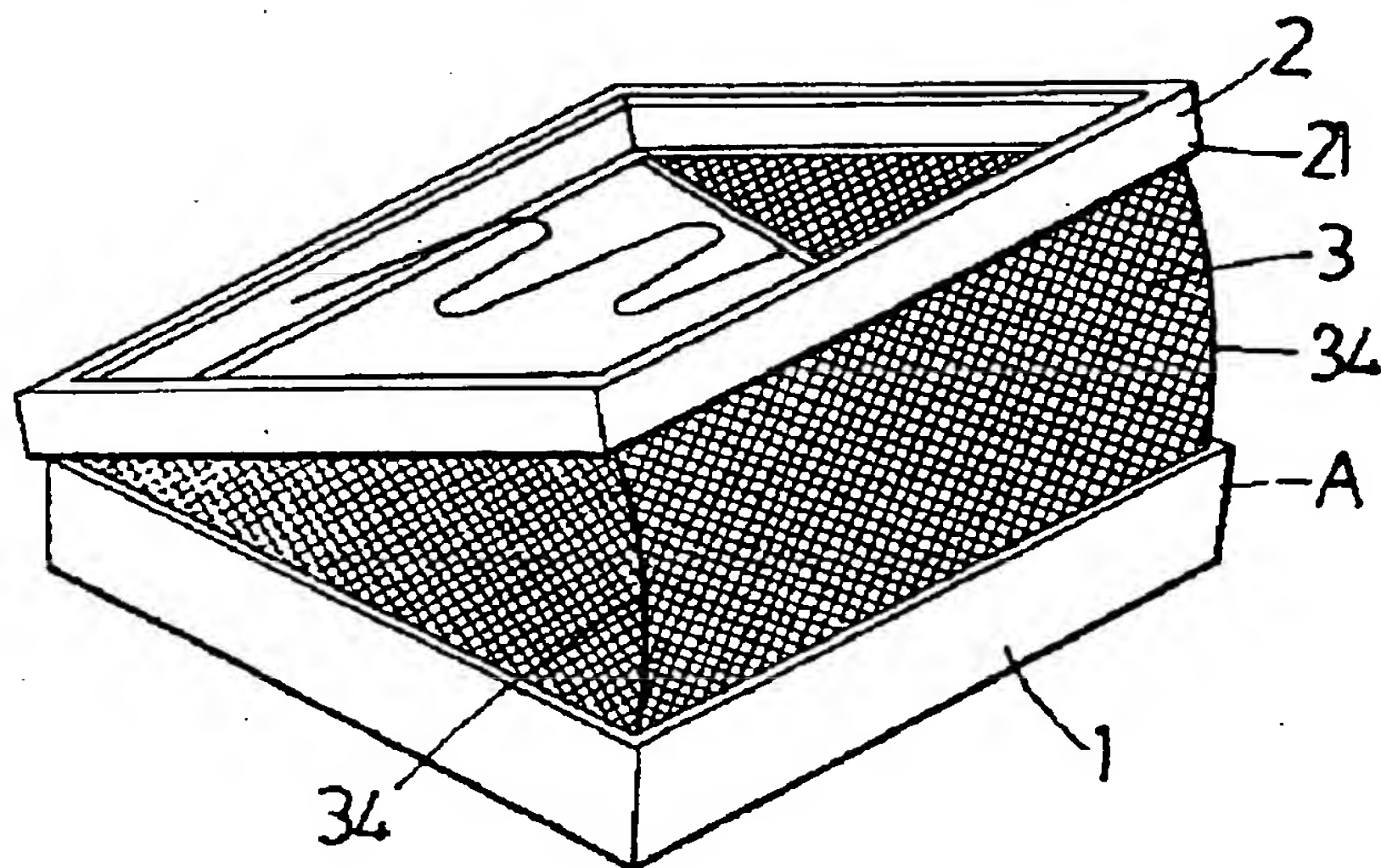
実用新案登録出願人

松下電工株式会社

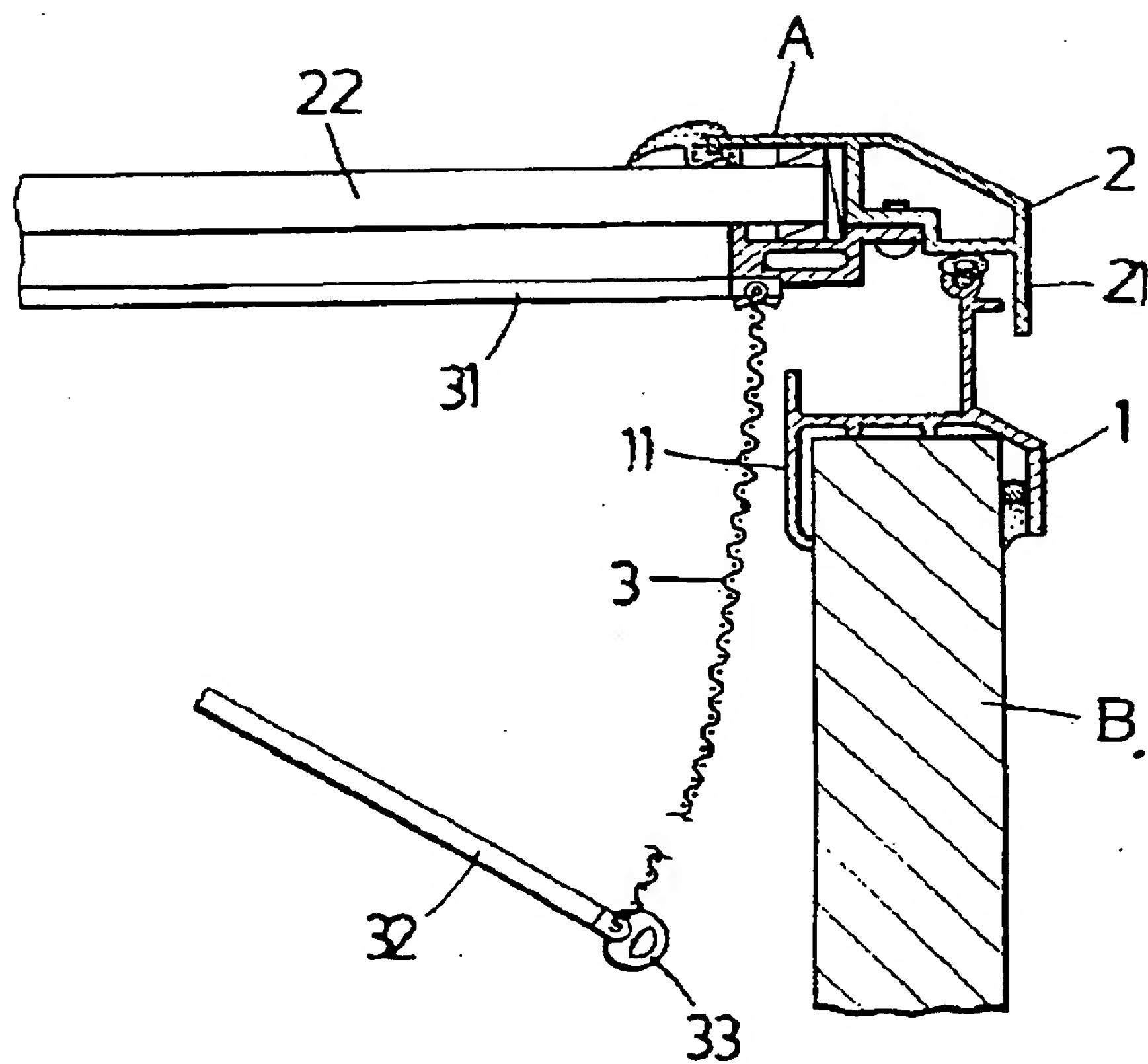
代理人弁理士 竹元敏丸

(ほか2名)

第 1 図



第 2 図

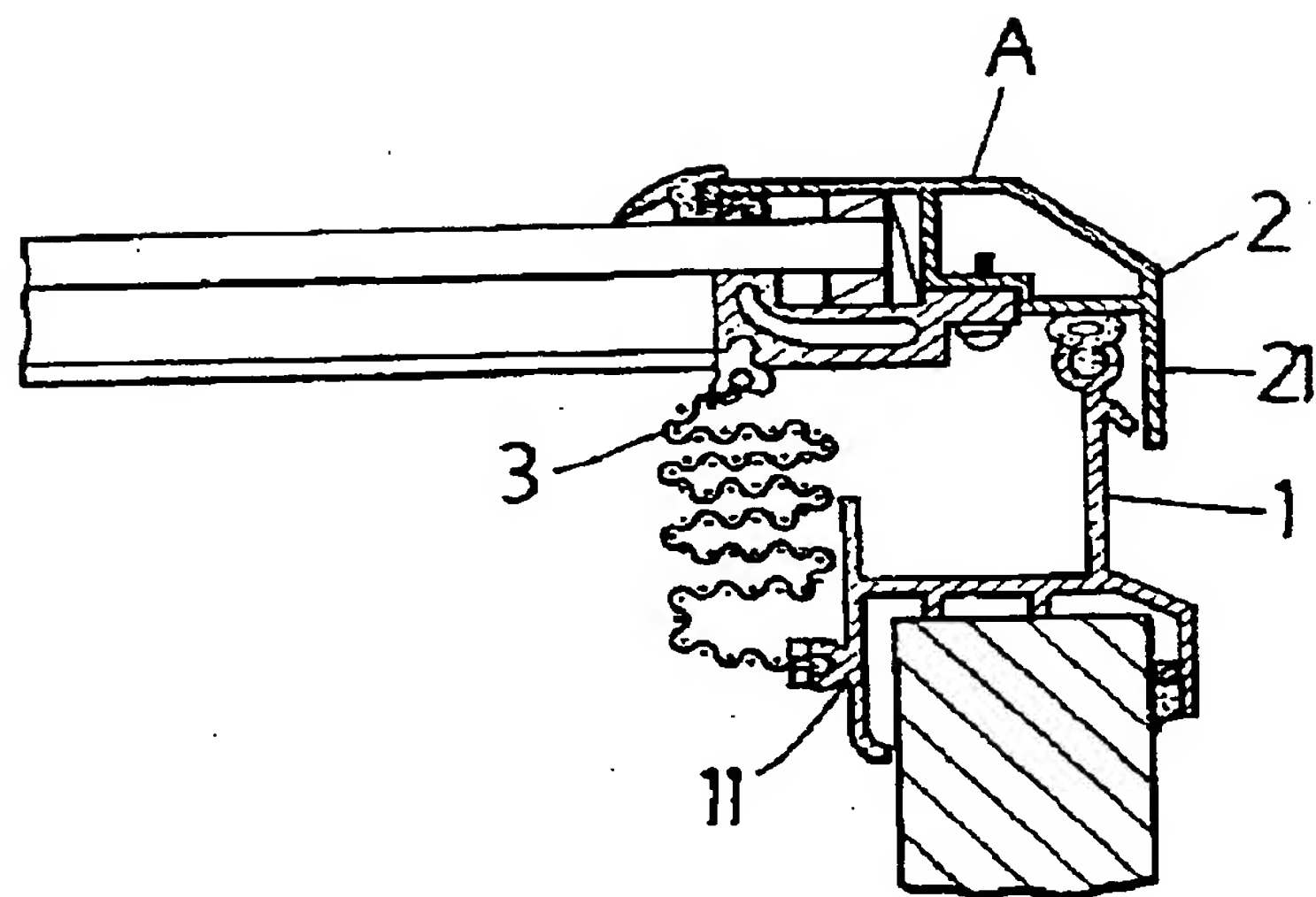


実開 61-76034

代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外 2 名

59-214A1283

第 3 図



312

実願 61-76034

代理人 井理士 竹 元 敏 丸 外 2 名

59-214A1283



(Translation)

Citation 2: JP Utility Model Application No. 59-162501  
(JP61-76034U)

Title: Transom Window

Applicant: Matsushita Electric Company, Japan

An embodiment of the present invention is described with reference to the drawings.

Fig. 1 is a perspective view of a transom window in an embodiment of the present invention. Fig. 2 is a partially enlarged view of a main part of an alternative embodiment of the present invention. In the drawings, the reference character A depicts a transom window, 1 depicts a window frame body, 2 depicts a transom window body, and 3 depicts a screening member 3.

The transom window A in this embodiment is composed of the window frame body 1 and the transom window body 2 axially attached to one side of the window frame body 1 so as to be opened and closed upward and downward. As shown in Fig. 1, the screening member 3 is disposed on a peripheral lower part of a window frame 21 of the transom window body 2 such that the screening member 3 blocks a space between the window frame body 1 and the transom window body 2, when the transom window body 2 is opened upward.

As shown in Fig. 2, the window frame body 1 of the transom window A is fixed on a wooden frame B forming a roof opening. A transom glass 22 is fitted in the window frame 21 of the transom window body 2. One side of the window frame 21 is pivotally mounted on the window frame body 1, so that the transom window body 2 can be

rotated about the pivotally mounted portion so as to be opened and closed. Formed below the rest three sides of the window frame 21 is an attachment frame 31 to which the screening member 3 is attached. An upper end of the screening member 3 is attached to the attachment frame 31. A lower end of the screening member 3 is attached to a frame body 32 in contact with an inside 11 of the window frame body 1. A sealing member 33 is disposed on an outer circumference of the frame body 32. When the transom window body 2 is opened upward, the frame body 33 is moved to a position of the inside 11 of the window frame body 3, and the frame body 33 is brought into contact with the inside 11 of the window frame body 3 so that a gap between the frame body 33 and the inside 11 of the window frame body 3 can be sealed. Namely, the screening member 3 is formed such that, when the transom window 2 is opened upward, the screening member 3 blocks the space between the window frame body 1 and the transom window body 2. In order that the screening member 3 can be moved upward and downward without being interfered, a reinforcement frame may be vertically disposed on an inside of an angular portion 34 of the screening member 3.